

1952-2012
60th Anniversary

2012年の夏休み

こども映画館

KIDS★CINEMA

[当選者のみ]

[希望者のみ]

映画の上映とお話 + 映写室・展示室訪問

ドキドキ、ワクワク
すてきな映画と出会えるよ!

えい が であ



7月27日|金|28日|土|8月3日|金|4日|土|

午後1時30分スタート! (午後1時開場)

東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール(地下1階)

協力: IMAGICA

料金(当日お支払い) 小ホール

中学生以下	無料
一般	500円
高校・大学生・シニア	300円

N 東京国立近代美術館フィルムセンター
F National Film Center
C The National Museum of Modern Art, Tokyo

参加は申込制です

◎応募方法: Eメールまたは往復はがきにて「フィルムセンター こども映画館係」までお申し込みください。受付票を返信いたします。しめきりは実施日の1週間前(必着)です。各回、定員(150名)に達し次第しめきります。
◎記入事項: ①希望日 ②参加者全員の名前(おとなもこどもも) ③学年(こどものみ) ④電話番号・Eメール・アドレス ⑤映写室訪問の希望の有無(映写室は抽選の当選者のみ参加可)

⇒ Eメール Kids-cinema2012@momat.go.jp

⇒ 往復はがき 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6
フィルムセンター こども映画館係

② 内容に関してのお問い合わせ ⇒ ☎ 03-3561-0823

★「こども映画館」はこどもたちのためのイベントです。こどもの引率や付添ではない成人の方々の単独でのお申し込みはご遠慮願います。★各プログラムは原則として中学生までを対象としています。高校生もお申し込みいただけますが、全体の申し込み数を超えた時は、やむなくご参加をお断りする場合がございます。★当日の会場への入場は先着順です。発券・開場は開映の30分前から行います。受付票をご提示の上、観覧券をお求めください。観覧券は当日・当該回のみ有効です。★シニア(65歳以上)の方は、当日必ず年齢を証明できるものをご提示ください。★お申し込みの際にいただきます個人情報は、今後の「こども映画館」に関するご案内の目的のみに利用することとし、第三者への提供は行いません。

🎁 東京国立近代美術館60周年を記念して、誕生日当日のご入場は無料となります(証明できるものをご提示ください)。

デザイン:中西要介 イラスト:井上コトリ

こども映画館

KIDS★CINEMA

7月27日[金] 13:30-15:30

活弁と音楽の世界 —ニッコニコ大会

ニッコニコ大会とは喜劇映画をまとめて見られる上映会。観客が一緒になって楽しめる映画ならではのこの体験を、活弁と音楽とともに実感してみよう。

『マックスの近視眼』(1910年)

フランス/監督:リュシアン・ノンゲ/6分
悪気はないものの周囲に迷惑をかけ、遂には決闘をすることになってしまふマックス。世界的に有名だったマックス・ランデーの主演作。

『石川五右エ門の法事』(1930年)

日本/監督:斎藤寅次郎/21分
有名な盗賊が自分の子孫を助けるために幽霊になって復活。喜劇の神様とも呼ばれた斎藤寅次郎監督のハラハラドキドキの作品。

『南北珍雄腕比べ』(1926年)

アメリカ/監督:クラレンス・バジジャー/53分
主人公は南軍のスパイ、次々と襲う危機を乗り越えていくが……。アメリカの文化遺産に指定された喜劇映画。



保護者・指導教員・ 引率者の皆様へ

「こども映画館」は、小・中学生を対象としたフィルムセンターの映画イベントで、夏休みの期間に開催します。「こども映画館」は次のような目的で企画されています。

◎子どもたちに、映画という偉大な文化芸術遺産の素晴らしさ、楽しさを知ってもらおう。

◎子どもたちに、テレビ等の家庭内視聴では得られない、大きなスクリーンによる本物の映画(フィルム)を楽しむ機会を提供する。

◎優れた映画作品の鑑賞を通して、子どもたちの豊かな情操と高い映像理解能力(リテラシー)を育む。

子どもたちが映画館に集まり、みんなが暗闇のなかで集中して大きなスクリーンを見つめ、泣き、笑い、緊張し、興奮し、感動する—かつてはごく当たり前であった、こうした映画の原風景の素晴らしさを、今日の子どもたちにも味わってみたいと思います。きっと良い思い出になることでしょう。

8月3日[金] 13:30-15:30

いろいろなオモシロ映画

線が動く! 折り紙が動く! そして…マヨネーズが踊る!?

アニメーション、人形劇から、実験映画、折り紙映画、企業PR映画など普段なかなか目にするのではない作品を親子一緒に楽しもう。

『めんどりの踊り』(1942年)

カナダ/監督:ノーマン・マクラレン/4分
楽しいカナダ民謡に乗せてすべてのものが踊り出す!

『5万匹 へんないのしし』(1962年)

日本/監督:横山隆一/4分
背中に木が生えたイノシシの運命は?

『茶目子の一日』(1931年)

日本/監督:西倉喜代治/7分
アニメで愉しく描かれる小学生の一日。

『花ともぐら』(1970年)

日本/監督:岡本忠成/16分
草花の世話をするもぐらの秘密をめぐるSF人形劇。

『マヨネーズ物語』(1972年)

日本/監督:清本隆男/16分
みんな大好き! マヨネーズの出来るまで。

『ホーム・マイホーム』(1970年)

日本/監督:岡本忠成/3分
キツネくんとモグラくんが目指した先にあるものは?

『いたづら椅子』(1957年)

カナダ/監督:ノーマン・マクラレン、クロード・ジュトラ/10分
まるで生きているような椅子との追っかけっこ。



7月27日、8月4日は活弁・演奏付きで 映画が観られるよ

弁士:佐々木重希子

活動写真(映画)の弁士。NHK山形放送局にてニュース番組のアシスタント・キャスターを務めた後、関東でテレビやラジオのアナウンス、レポートに携わる。1999年、活弁に出会い傾倒、2001年より弁士として各地で公演を行っている。

演奏:FEBO

2003年に結成。ギターの小沢あき、ピアノの永田雅代による即興中心のアンサンブル。

活弁とは?

無声映画の時代に日本の映画館で行われていた、弁士による映画説明のことです。当時はそれぞれの劇場が弁士を雇い、その評判によって劇場の人氣が左右されるほど大切な役割を担っていました。



8月4日[土] 13:30-15:30

活弁と音楽の世界 —映画と乗り物

列車や馬車や自動車からタルまで…映画には昔から乗り物がたくさん! 乗り物と一緒に映画の歴史を発見しよう!

『ラ・シオタ駅への列車の到着』(1895年)
フランス/撮影:ルイ・リュミエール/1分
駅に列車が到着するまでを撮影した、映画が誕生した最初期の映画!

『アメリカ消防士の生活』(1903年)

アメリカ/監督:E・S・ポーター/7分
火事場に入って親子を助ける消防士たちのお話。昔の消防車は馬がくっついてた?!

『大列車強盗』(1903年)

アメリカ/監督:E・S・ポーター/11分
強盗団が列車を襲ってきた! 馬と列車と拳銃と、西部劇がここに誕生!

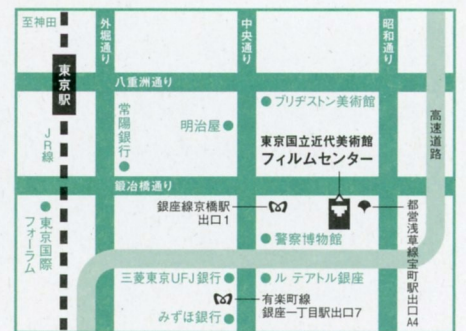
『ドリーの冒険』(1908年)

アメリカ/監督:D・W・グリフィス/12分
少女ドリーが誘拐され、タルに乗って川を下る大冒険! 映画の父、D・W・グリフィスの監督第1作!

『悪太郎(キートンの強盗騒動)』

(1921年)
アメリカ/監督:バスター・キートン、マル・セント・クレア/19分
強盗犯に間違えられ、警察官に追われるキートン! 列車に自動車、トラック、馬の映像まで! 乗り物満載のアクション・コメディ!

※不完全なプリントが含まれていることがあります。



東京国立近代美術館フィルムセンター

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

交通:東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分/都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分/東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分/JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ
ハローダイヤル:03-5777-8600
東京国立近代美術館ホームページ:
<http://www.momat.go.jp/>